

第52回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

日 時：令和2年9月14日(月)10:30～11:30

場 所：県庁6階 第1・第2特別会議室

次 第

1 開 会

2 報告事項

- (1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について
- (2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について
- (3) 沖縄県内及び全国の感染状況について
- (4) 宿泊施設の運用状況について
- (5) 沖縄県緊急事態宣言後の状況について
- (6) クラスターの発生状況について
- (7) 看護師の派遣受入状況について
- (8) 「沖縄県主催イベント等実施ガイドライン」について

3 議題

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策：警戒レベルについて
- (2) 「沖縄県新型コロナウイルス感染注意報」の発信について

4 その他

5 閉 会

沖縄県における新型コロナウイルス感染症陽性者の状況

分類 9月14日(月) 12時00分現在

資料 1

年代	男性	女性	非公表	合計
90歳以上	12	27		39
80代	48	61		109
70代	107	73		180
60代	145	117		262
50代	151	118		269
40代	212	149	1	362
30代	200	170		370
20代	233	252		485
10代	62	65	1	128
10歳未満	36	44	3	83
年代非公表	0	4	3	7
合計	1206	1080	8	2294

※ 北部保健所管内 28 1% 26

※ 中部保健所管内 195 9% 172

※ 南部保健所管内 226 10% 211

※ 宮古保健所管内 0 0% 0

※ 八重山保健所管内 17 1% 17

居住地	うち解除
那覇市	798 35%
宜野湾市	95 4%
石垣市	37 2%
浦添市	184 8%
名護市	34 1%
糸満市	130 6%
沖繩市	160 7%
豊見城市	138 6%
うるま市	112 5%
宮古島市	44 2%
南城市	62 3%
合計	2294

療養状況 人数

入院中 165 うち重症 7

うち中等症 58

※国基準 うち重症 23

うち中等症 42

入院・療養等調整中 4

宿泊施設療養中 14

自宅療養中 15

療養中患者計 198

入院勧告解除等 2055

うち解除後再入院 4 ※

うち退院 2051

死亡退院 45

合計 2298

合計(実数) 2294 ※重複例は複数カウントせず

推定感染経路

接触者 ※1 1247 54%

接触判明 ※2 21 1%

米軍関係 1 0%

県外 23 1%

海外 5 0%

飲食店 32 1%

職場 11 0%

調査中 887 39%

不明 67 3%

合計 2294

※市を除く

行政検査件数

前日まで 20275件

9月14日 96件

合計 20371件

新規陽性者数

行政検査 1名

保険診療 3名

合計 4名

※1: 確定患者との接触者として予め把握されていた例

※2: 陽性確定後、調査を行った結果、確定患者との接触が事後に判明した例

沖縄県における新型コロナウイルス感染症陽性者の状況【7月以降】

分類 9月14日(月) 12時00分現在

年代	男性	女性	非公表	合計
90歳以上	12	27		39
80代	43	60		103
70代	93	60		153
60代	130	110		240
50代	135	109		244
40代	200	135	1	336
30代	193	163		356
20代	217	248		465
10代	61	64	1	126
10歳未満	36	44	3	83
年代非公表	0	4	3	7
合計	1120	1024	8	2152

※ 北部保健所管内 28 1% 26

※ 中部保健所管内 178 8% 157

※ 南部保健所管内 213 10% 198

※ 宮古保健所管内 0 0% 0

※ 八重山保健所管内 17 1% 17

居住地	うち解除
那覇市	735 34%
宜野湾市	90 4%
石垣市	33 2%
浦添市	177 8%
名護市	32 1%
糸満市	129 6%
沖繩市	144 7%
豊見城市	133 6%
うるま市	109 5%
宮古島市	44 2%
南城市	60 3%
合計	2152

療養状況 人数

入院中 165 うち重症 7

うち中等症 58

※国基準 うち重症 23

うち中等症 42

入院・療養等調整中 4

宿泊施設療養中 14

自宅療養中 15

療養中患者計 198

入院勧告解除等 1916

うち解除後再入院 ※

うち退院 1916 89%

死亡退院 38

合計 2152

合計(実数) 2152 ※重複例は複数カウントせず

推定感染経路

接触者 ※1 1199 56%

接触判明 ※2 5 0%

米軍関係 1 0%

県外 11 1%

海外 0 0%

飲食店 10 0%

職場 4 0%

調査中 887 41%

不明 35 2%

合計 2152

※市を除く

行政検査件数(7月以降)

前日まで 16652件

9月14日 96件

合計 16748件

新規陽性者数

行政検査 1名

保険診療 3名

合計 4名

※1: 確定患者との接触者として予め把握されていた例

※2: 陽性確定後、調査を行った結果、確定患者との接触が事後に判明した例

沖縄県におけるコロナウイルス感染症陽性者の状況

1 陽性者一覧

(欠番21例)

確定陽性者	性別	年齢	発病日	確認日	居住地	職業	推定感染経路
2315	女性	20代	確認中	9月14日	浦添市	確認中	県内確定例の接 触者
2314	男性	70代	8月29日	9月13日	宮古島市	農業	調査中
2313	女性	70代	確認中	9月13日	名護市	確認中	調査中
2312	女性	60代	9月9日	9月13日	南部保健所 管内	無職	調査中
2311	女性	70代	9月10日	9月13日	那覇市	無職	県内確定例の接 触者
2310	非公表	10歳未満	9月10日	9月13日	那覇市	確認中	県内確定例の接 触者
2309	女性	70代	9月11日	9月13日	沖縄市	無職	県内確定例の接 触者
2308	男性	60代	9月11日	9月13日	浦添市	確認中	県内確定例の接 触者
2307	女性	20代	確認中	9月12日	南部保健所 管内	医療関係者	調査中
2306	女性	30代	9月8日	9月12日	中部保健所 管内	確認中	調査中
2305	女性	70代	9月4日	9月12日	うるま市	無職	調査中
2304	女性	80代	9月10日	9月12日	宜野湾市	確認中	調査中
2303	男性	50代	9月10日	9月12日	浦添市	会社員	調査中
2302	男性	20代	9月7日	9月12日	那覇市	飲食業	調査中
2301	女性	80代	9月3日	9月12日	浦添市	接客業	調査中
2300	女性	60代	9月10日	9月12日	那覇市	接客業	県内確定例の接 触者
2299	男性	40代	9月8日	9月12日	那覇市	サービス業	県内確定例の接 触者
2298	女性	30代	9月10日	9月12日	南城市	確認中	県内確定例の接 触者

確定陽性者	性別	年齢	発病日	確認日	居住地	職業	推定感染経路
2297	男性	50代	9月10日	9月12日	那覇市	確認中	県内確定例の接 触者
2296	男性	40代	9月9日	9月12日	浦添市	会社員	県内確定例の接 触者
2295	女性	80代	確認中	9月11日	うるま市	無職	県内確定例の接 触者
2294	女性	70代	9月10日	9月11日	宜野湾市	確認中	調査中
2293	男性	70代	9月11日	9月11日	南城市	タクシー運転 手	調査中
2292	男性	30代	9月10日	9月11日	大阪府	接客業	調査中
2291	女性	90歳以 上	9月8日	9月11日	那覇市	無職	調査中
2290	男性	20代	9月8日	9月11日	石垣市	飲食業	県内確定例の接 触者
2289	女性	30代	9月6日	9月11日	浦添市	医療関係者	県内確定例の接 触者
2288	男性	50代	確認中	9月10日	うるま市	確認中	県内確定例の接 触者
2287	男性	80代	確認中	9月10日	中部保健所 管内	確認中	県内確定例の接 触者
2286	女性	30代	9月8日	9月10日	中部保健所 管内	確認中	調査中
2285	男性	70代	9月7日	9月10日	那覇市	飲食業	調査中
2284	男性	60代	9月2日	9月10日	浦添市	無職	調査中
2283	女性	60代	9月6日	9月10日	那覇市	介護職	調査中
2282	男性	30代	9月8日	9月10日	沖縄市	会社員	調査中
2281	男性	20代	9月5日	9月10日	那覇市	確認中	県外確定例の接 触者
2280	男性	60代	9月8日	9月10日	北部保健所 管内	確認中	県内確定例の接 触者
2279	男性	40代	9月7日	9月10日	中部保健所 管内	運送業	県内確定例の接 触者

確定陽性者	性別	年齢	発病日	確定日	居住地	職業	推定感染経路
2278	男性	60代	8月30日	9月10日	浦添市	会社員	調査中
2277	男性	60代	8月31日	9月10日	浦添市	会社員	調査中
2276	女性	70代	9月8日	9月10日	那覇市	無職	調査中
2275	女性	60代	9月8日	9月10日	那覇市	無職	県内確定例の接 触者
2274	男性	40代	9月8日	9月10日	豊見城市	会社員	県内確定例の接 触者
2273	男性	10代	確認中	9月9日	浦添市	確認中	調査中
2272	女性	10歳未 満	9月5日	9月9日	沖縄市	確認中	県内確定例の接 触者
2271	女性	40代	9月5日	9月9日	那覇市	確認中	調査中
2270	女性	60代	確認中	9月9日	那覇市	確認中	調査中
2269	女性	20代	9月9日	9月9日	浦添市	確認中	調査中
2268	女性	40代	9月7日	9月9日	那覇市	医療関係者	県内確定例の接 触者
2267	女性	50代	9月7日	9月9日	那覇市	医療関係者	県内確定例の接 触者
2266	女性	60代	9月8日	9月9日	那覇市	医療関係者	県内確定例の接 触者
2265	女性	20代	9月7日	9月9日	豊見城市	医療関係者	県内確定例の接 触者
2264	女性	70代	9月7日	9月9日	糸満市	確認中	県内確定例の接 触者
2263	男性	80代	9月7日	9月9日	豊見城市	無職	県内確定例の接 触者
2262	男性	30代	9月7日	9月9日	南部保健所 管内	建築業	県内確定例の接 触者
2261	男性	20代	9月2日	9月8日	石垣市	ホテル従業員	調査中
2260	女性	70代	9月1日	9月8日	浦添市	確認中	調査中

確定陽性者	性別	年齢	発病日	確定日	居住地	職業	推定感染経路
2259	女性	60代	9月4日	9月8日	那覇市	会社員	県内確定例の接 触者
2258	男性	10代	確認中	9月8日	沖縄市	確認中	調査中
2257	男性	70代	9月5日	9月8日	名護市	確認中	調査中
2256	男性	70代	9月7日	9月8日	那覇市	無職	県内確定例の接 触者
2255	男性	50代	9月7日	9月8日	那覇市	無職	県内確定例の接 触者
2254	男性	40代	9月3日	9月7日	豊見城市	会社員	県内確定例の接 触者
2253	男性	70代	8月30日	9月8日	浦添市	タクシー運転 手	県内確定例の接 触者
2252	男性	60代	9月5日	9月7日	沖縄市	無職	県内確定例の接 触者
2251	男性	20代	9月7日	9月7日	那覇市	確認中	調査中
2250	女性	20代	8月28日	9月7日	沖縄市	接客業	県内確定例の接 触者
2249	男性	10歳未 満	9月3日	9月7日	沖縄市	確認中	県内確定例の接 触者
2248	女性	60代	9月2日	9月7日	豊見城市	医療関係者	県内確定例の接 触者
2247	女性	40代	9月4日	9月7日	中部保健所 管内	介護職	県内確定例の接 触者
2246	女性	10代	8月27日	9月7日	沖縄市	確認中	県内確定例の接 触者
2245		欠番					
2244	男性	70代	8月26日	9月7日	那覇市	確認中	県内確定例の接 触者
2243	女性	40代	8月28日	9月7日	那覇市	事務職	県内確定例の接 触者
2242	男性	20代	確認中	9月7日	名護市	確認中	調査中
2241	女性	60代	9月4日	9月7日	浦添市	確認中	県内確定例の接 触者

確定 陽性者	性別	年齢	発病日	確定日	居住地	職業	推定感染経路
2240	女性	30代	確認中	9月6日	沖繩市	無職	県内確定例の接 触者
2239	男性	10代	9月1日	9月6日	中部保健所 管内	確認中	調査中
2238	女性	30代	9月5日	9月6日	那覇市	無職	調査中
2237	男性	20代	確認中	9月6日	那覇市	会社員	県内確定例の接 触者
2236	男性	70代	9月2日	9月6日	那覇市	確認中	調査中
2235	男性	70代	8月23日	9月5日	うるま市	確認中	調査中
2234	女性	70代	9月4日	9月5日	沖繩市	接客業	県内確定例の接 触者
2233	女性	30代	9月1日	9月5日	沖繩市	飲食業	県内確定例の接 触者
2232	女性	60代	8月29日	9月5日	浦添市	確認中	調査中
2231	女性	40代	8月27日	9月5日	那覇市	飲食業	調査中
2230	女性	20代	9月1日	9月5日	南城市	確認中	調査中
2229	女性	70代	8月30日	9月5日	沖繩市	無職	調査中
2228	女性	20代	8月31日	9月5日	石垣市	ホテル従業員	県内確定例の接 触者
2227	男性	60代	9月3日	9月5日	那覇市	医療関係者	県内確定例の接 触者
2226	男性	50代	9月3日	9月5日	那覇市	医療関係者	県内確定例の接 触者
2225	男性	50代	9月1日	9月5日	那覇市	会社員	調査中
2224	女性	50代	9月3日	9月5日	那覇市	会社員	県内確定例の接 触者
2223	男性	20代	8月28日	9月5日	豊見城市	確認中	県内確定例の接 触者
2222	女性	40代	8月29日	9月5日	沖繩市	会社員	県内確定例の接 触者

確定 陽性者	性別	年齢	発病日	確定日	居住地	職業	推定感染経路
2221	男性	40代	9月2日	9月5日	沖繩市	確認中	県内確定例の接 触者
2220	男性	80代	9月1日	9月5日	うるま市	無職	県内確定例の接 触者
2219	女性	80代	8月28日	9月4日	豊見城市	確認中	調査中
2218	男性	60代	8月29日	9月4日	沖繩市	会社員	調査中
2217	女性	60代	8月31日	9月4日	沖繩市	保育士	県内確定例の接 触者
2216	男性	60代	8月30日	9月4日	沖繩市	建築業	調査中
2215	女性	50代	8月29日	9月4日	中部保健所 管内	医療関係者	調査中
2214	女性	60代	8月30日	9月4日	那覇市	接客業	県内確定例の接 触者
2213	女性	60代	9月2日	9月4日	那覇市	無職	県内確定例の接 触者
2212	女性	70代	8月27日	9月4日	那覇市	確認中	調査中
2211	男性	10歳未 満	8月30日	9月4日	那覇市	確認中	県内確定例の接 触者
2210	男性	60代	8月31日	9月4日	那覇市	無職	調査中
2209	女性	20代	8月29日	9月4日	沖繩市	接客業	調査中
2208	女性	80代	8月31日	9月4日	沖繩市	無職	調査中
2207	男性	40代	8月31日	9月4日	中部保健所 管内	介護職	調査中
2206	女性	70代	8月25日	9月4日	うるま市	無職	県内確定例の接 触者
2205	男性	60代	9月2日	9月4日	糸満市	土木業	県内確定例の接 触者
2204	男性	40代	8月31日	9月4日	南城市	建築業	県内確定例の接 触者
2203	男性	20代	9月2日	9月4日	那覇市	会社員	県内確定例の接 触者

在沖米軍基地内における新型コロナウイルス感染症発生状況

(9月12日 12:00 現在)

1 米軍基地内陽性者数

場所	昨日まで	新規陽性者	合計
嘉手納基地	38		38
キャンプマクトリアス	2		2
普天間基地	114		114
キャンプハンセン	171		171
キャンプキンザー	5		5
キャンプフォスター	19		19
ホワイトビーチ	1		1
キャンプコートニー	44		44
キャンプシュワブ	5		5
トリイ通信施設	1		1
合計	400	0	400
隔離解除(全軍)			392

2 基地従業員検査状況(濃厚接触者・有症状者)

所属	検査数 (累計)	陽性者 (累計)
嘉手納基地	(45)	(7)
マクトリアス	(1)	
普天間基地	(8)	(2)
キャンプハンセン	(19)	
キャンプキンザー	(10)	(2)
キャンプフォスター	(12)	(3) ※
キャンプコートニー	(4)	(2)
キャンプシュワブ	(1)	
陸軍貯油施設	(1)	(1)
トリイ通信施設	(1)	(1)
不明	(14)	
合計	0 (116)	0 (18)

3 繁華街店員・基地従業員等無症状者を対象としたPCR検査

場所	検査数	陽性者数
北谷町 (7/12)	130	0
金武町 (7/19)	198	0
ハンセン・普天間基地 従業員(7/25・26)	983	1 ※
計	1311	1

※再掲

新型コロナウイルス感染症対策：警戒レベル判断指標の状況

判断指標		令和2年9月13日 12時時点	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
			発生早期	流行警戒期	感染流行期	感染蔓延期
県内の医療体制	① 療養者数 (入院中・宿泊療養・自宅療養・入院調整中)	201 人	23人以下	54人以下	329人以下	329人超
	② 現時点：病床占有率 (入院中/病床数)	56.7 %	30%以下	45%以下	70%以下	70%超
	③ 現時点：重症者用病床占有率 (重症者/重症病床数)	29.2 %	10%以下	30%以下	60%以下	60%超
県内の感染状況	④ 新規感染者数 (直近1週間合計)	69 人	14人以下	37人以下	211人以下	211人超
	⑤ 感染経路不明な症例の割合 (直近1週間平均)	46.4 %	30%以下	50%以下	70%以下	70%超
	⑥ 新規PCR検査の陽性率 (直近1週間平均)	1.7 %	1%以下	3%以下	7%以下	7%超
	⑦ 入院1週間以内の重症化率 (直近1週間平均)	3.1 %	10%以下	15%以下	20%以下	20%超
参考指標	入院患者数(入院中・宿泊療養・入院調整中)	183 人				
	病床利用率(入院中・宿泊療養数・自宅療養 /病床数・宿泊施設部屋数)	29.3 %				
	確保予定：病床占有率(入院中/病床数)	37.9 %				
	確保予定：重症者用病床占有率(重症者/ 重症病床数)	13.7 %				
	現時点：集中治療用病床占有率(ICU・HCU入 院者/ICU・HCU病床数)※3	50.0 %				

※1 ⑥新規PCR検査の陽性率(直近1週間平均)の数値は前日の数値。保健診療検査関連の数値は、各検査機関からの報告が遅れるため、一部のみカウントされた数値となっている。

※2 国の指標及び目安では、②・③の病床数及び重症者用病床数は、最大確保予定の数値で算定しているが、沖縄県では、現時点の病床数及び重症者用病床数で算定している。

※3 集中治療用病室占有率は、厚生労働省の重症者基準に基づき、集中治療室(ICU, HCU)入院者を全て重症者として算定したものの。

令和2年9月14日

総括情報部

宿泊療養施設:入居状況等の報告

1. 運営状況

	那覇市内		宮古地域	八重山地域	合計
	リゾネックス那覇	東横仁旭橋	ピースリーイン宮古島	アパホテル石垣	
総部屋数	60部屋	200部屋	30部屋	50部屋	340部屋
入居部屋数	0部屋	15部屋	0部屋	0部屋	15部屋
残部屋数	60部屋	185部屋	30部屋	50部屋	325部屋
総入所者数	65人	361人	4人	25人	455人
総退所者数	65人	346人	4人	25人	440人
入居人数	0人	15人	0人	0人	15人
陽性者数	0人	15人	0人	0人	15人

2. 男女別人数・比率

男女比	男性人数	女性人数	計
人数	9人	6人	15人
比率	60.0%	40.0%	100.0%

3. 年代別人数・比率

年代別	男性人数	女性人数	計	年代別割合
10歳未満	人	人	人	0.0%
10代	人	人	人	0.0%
20代	3人	2人	5人	33.3%
30代	2人	人	2人	13.3%
40代	2人	2人	4人	26.7%
50代	1人	1人	2人	13.3%
60代	1人	1人	2人	13.3%
70代	人	人	人	0.0%
年齢確認中	人	人	人	0.0%
小計	9人	6人	15人	100.0%

沖縄県内の人口変動状況について

外出自粛の効果を定量的に分析するため、KDDIから位置情報ビッグデータ分析ツール「KDDI Location Analyzer」を無償提供していただき、検証を行った。

調査箇所は、本島・宮古・八重山の3地域で繁華街・商業地域・空港エリアとし、合計16地点(のべ18地点)を設定した。

1. 調査箇所・時間

3月20日(金・祝)又は21日(土)を基準日と設定し、(1)繁華街エリアに関しては22時時点の金・土曜日及び祝祭日の前日、(2)商業エリアに関しては土日祝祭日の15時時点、(3)空港に関しては土日祝祭日1日単位で検証を行った。

(1) 繁華街エリア：22時時点(8地点)

- ①名護市：みどり街周辺、②沖縄市：中の町・ゲート通り周辺、③那覇市：松山周辺
 ④那覇市：久茂地周辺、⑤那覇市：てんぷす那覇周辺(桜坂・平和通り等)、
 ⑥那覇市：栄町周辺、⑦宮古島市：西里通り・下里通り周辺、⑧石垣市：美崎町周辺

(2) 商業エリア：15時時点(7地点)

- ①北谷町：美浜周辺、②北中城村：イオンモール沖縄ライカム、
 ③浦添市：サンエー浦添西海岸パルコシティ、
 ④豊見城市：豊崎ショッピングモールあしびな、⑤那覇市：サンエー那覇メインプレイス
 ⑥那覇市：久茂地周辺、⑦那覇市：てんぷす那覇周辺(桜坂・平和通り等)

(3) 空港エリア：1日単位(3地点)

- ①那覇空港、②宮古空港、③石垣空港

2. 分析結果

(1) 繁華街エリア：22時時点(8地点平均)

※9/5、9/6台風10号接近

	3/21 (土)	4/4 (土)	4/25 (土)	5/2-5/6 土-水	5/16 (土)	5/30 (土)	6/20 (土)	7/11 (土)	7/23-25 木-土	8/8 (土)	8/22 (土)	9/5 (土)
基準日	▲44.7	▲63.1	▲64.9	▲43.4	▲33.9	▲13.9	▲8.2	▲18.3	▲45.8	▲44.6	▲40.1	

(2) 商業エリア：15時時点(7地点平均)

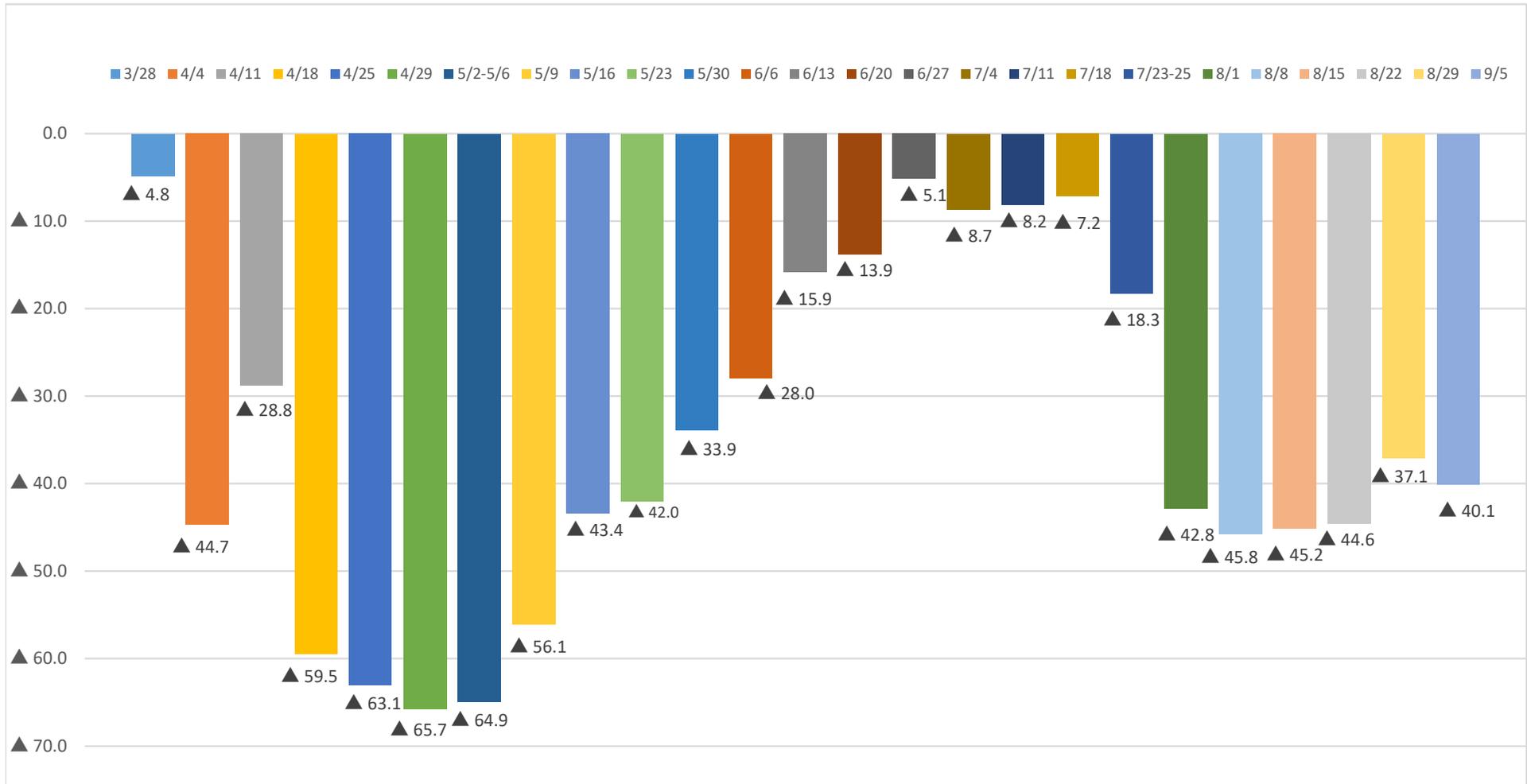
	3/20 (金祝)	4/5 (日)	4/26 (日)	5/2-5/6 土-水	5/17 (日)	5/31 (日)	6/21 (日)	7/12 (日)	7/23-26 木-日	8/9 (日)	8/23 (日)	9/6 (日)
基準日	▲32.4	▲68.6	▲62.0	▲38.6	▲14.9	3.6	1.2	▲10.9	▲37.0	▲32.6	▲39.0	

(3) 空港エリア：1日単位(3地点平均)

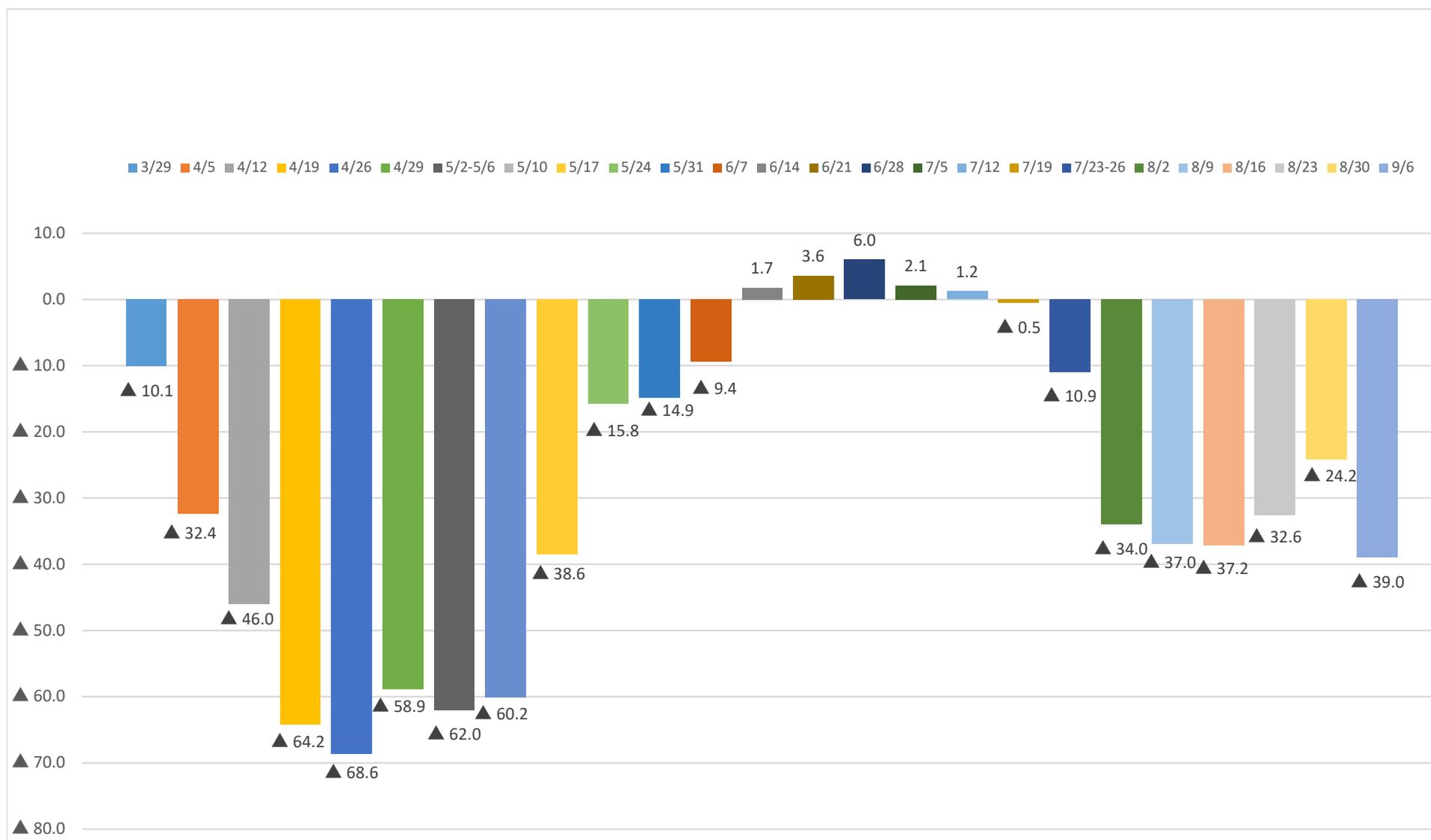
	3/21 (金祝)	4/5 (日)	4/26 (日)	5/2-5/6 土-水	5/17 (日)	5/31 (日)	6/21 (日)	7/12 (日)	7/23-25 木-日	8/9 (日)	8/23 (日)	9/6 (日)
基準日	▲28.2	▲80.0	▲81.3	▲77.5	▲63.0	▲32.2	▲2.0	▲0.3	▲53.2	▲49.4	▲80.5	

沖縄県内の人口変動状況について

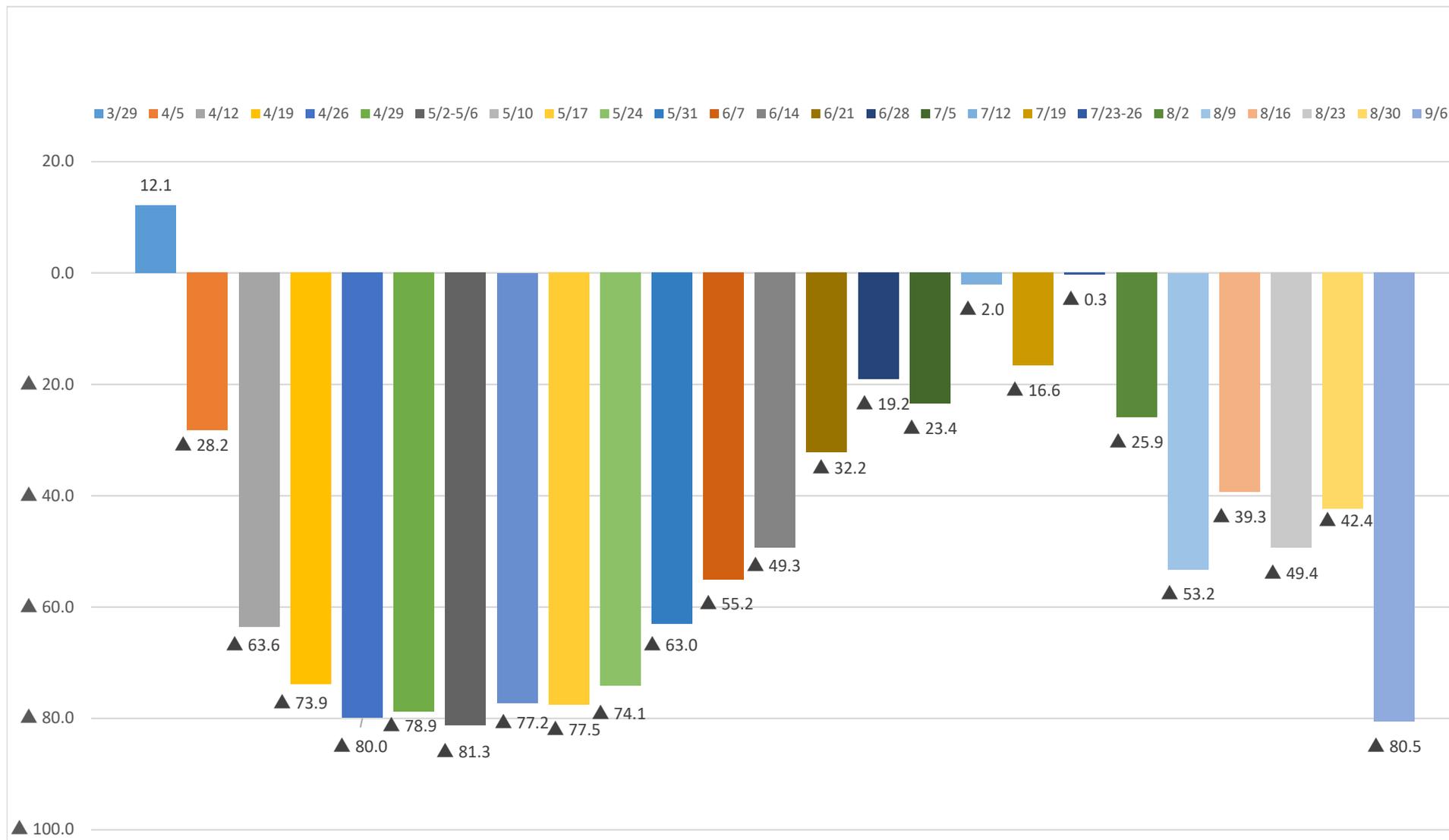
【Ⅰ 繁華街エリア合計：3月21日(土)と比較して各土曜日22時時点】



【Ⅱ 商業エリア合計：3月20日(金祝)と比較して各日曜日15時時点】



【Ⅲ 空港エリア合計：3月20日(日)と比較して各日曜日 1日単位】



看護師の派遣受入状況【9月14日9:00時点】

全国知事会	15県	34名	(活動中 2県、3名)
鳥取県 8/18-9/3	2名	8/19~8/31	活動終了
大分県 8/19-9/3	2名	8/20~9/2	活動終了
高知県 8/20-9/4	2名	8/21~9/3	活動終了
福井県 8/20-9/3	2名	8/21~8/31	活動終了
長野県 8/24-9/6	2名	8/25~9/5	活動終了
宮城県 8/25-9/7	2名	8/26~9/6	活動終了
徳島県 8/25-9/8	2名	8/26~9/7	活動終了
山梨県 8/26-9/10	2名	8/27~9/9	活動終了
青森県 8/26-9/11	1名	8/27~9/10	活動終了
兵庫県 8/27-9/11	9名	8/28~9/9	活動終了
福島県 9/2-9/13	2名	9/3~9/12	活動終了
広島県 8/30-9/15	1名	9/2~9/14	本日活動終了
鹿児島県 9/2-9/10	2名	9/3~9/9	活動終了
北海道 9/3-9/14	1名	9/4~9/8	活動終了
愛知県 9/4-9/19	2名	9/5~9/18	

自衛隊	15名	8/18~8/31、8/22~8/31	活動終了
ジャパンハート	4名	8/15~8/31、8/26~8/31	活動終了
県看護協会(県内医療機関等)	10名	8/19~8/30	活動終了

活動状況

・ クラスター発生施設への派遣

派遣先	必要人数	活動中	派遣元
かなな病院		2	愛知県(9/5-9/18)
協同病院		1	広島県(9/2-9/14)本日活動終了

「沖縄県主催イベント等実施ガイドライン」について

1. ガイドラインの概要

沖縄県では、イベント開催にあたっての感染症対策の徹底や、二次感染リスクの最小限化等を目的として、「沖縄県主催イベント等実施ガイドライン」(5月20日)を策定した。

2. 政府の通知

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室発出通知では、イベント開催に際し9月末までは現在の開催制限(屋内、屋外ともに5,000人以下)を維持する方針とされていた。

今般、9月11日付け事務連絡において、現在の感染状況やこれまで得られた知見を踏まえ、9月19日以降11月末までの催物開催について、徹底した感染防止対策を前提に、開催制限を緩和する旨の方針が示された。

なお、今後の感染状況や新たな知見が得られる等の状況に応じ、取扱いについては、変更があり得るとのこと。

3. 主な緩和内容

- イベント開催に関する人数要件について、開催制限の緩和を適用する場合の条件が担保されている場合、「5000人または収容定員の50%のいずれか大きい方」を上限とする。
- 歓声や声援などが想定されないクラシックコンサート等については、収容率100%を上限とし、収容定員が設定されていない場合は、密が発生しない程度の間隔を空けることとする。
- 大声での感染、声援が想定されるイベントで、参加者の位置が固定され、入退場時や区域内の適切な行動が確保できるものについて、同一グループ(5人以内)では座席の間隔を設ける必要はない。

4. 政府通知に係る留意事項について

- 国からの事務連絡に「本事務連絡で示した人数上限及び収容率要件については、国として示す目安であり、各都道府県においては、それぞれの地域の感染状況等に応じて、異なる基準を設定し得る」等の記述がある。

5. 沖縄県の対応について

- ① 沖縄県では、これまで「沖縄県主催イベント等実施ガイドライン」を作成し、県内市町村や事業者に参加を促すよう呼びかけてきた。当該ガイドラインは、国の方針に準拠し県内の感染状況を踏まえ、適宜変更しながら運用してきたところである。
- ② 今般の国の事務連絡を受け、国が示す全国的な基準を踏まえ、要件緩和を検討する必要があるが、県内の警戒レベルはまだ第3段階にあることから、実施時期については第2段階以下と判断される時期に合わせる必要がある。
- ③ その際、今般は、県主催のイベントに限定せず、県内全体に係る方針として国に準拠した内容とすることも検討したい。
- ④ 以上のことについて、班長会議等を通して各部局の意見を取りまとめ、本部会議に諮ることとする。

事務連絡
令和2年9月11日

各都道府県知事 殿

各府省庁担当課室 各位

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長

11月末までの催物の開催制限等について

令和2年8月24日付け事務連絡により通知したとおり、9月1日以降の催物開催について、9月末までは現在の開催制限を維持することとし、その間においても状況に応じ、目安のあり方を見直す場合があることとされていたが、現在の感染状況やこれまで得られた知見を踏まえて、9月19日以降の催物開催については、下記のとおりとするので、留意されたい。

また、今後の感染状況や新たな知見が得られる等の状況に応じ、下記の取扱いに変更があり得ることにも留意されたい。

記

1. 催物の開催制限

感染防止対策と経済社会活動の両立のため、徹底した感染防止対策の下での安全なイベント開催を図っていく。具体的には、当面のイベント開催については、11月末まで、開催の目安を以下のとおりとする。この取扱いは、本日の新型コロナウイルス感染症対策分科会における議論を踏まえ、今後一週間程度の周知・準備期間を考慮し、9月19日から実施する。

なお、12月以降の取扱いについては、今後検討の上、別途通知する。

(1) 催物開催の目安

人数上限及び収容率要件による人数のいずれか小さい方を限度とする。

① 人数上限の目安

収容定員が設定されている場合、

- ・ 別紙3「収容率及び人数上限の緩和を適用する場合の条件について

て」及び別紙4「感染防止のチェックリスト」に留意し、開催制限の緩和を適用する場合の条件が担保されている場合、「5,000人又は収容定員の50%のいずれか大きい方」を上限とする

- ・ 別紙3及び別紙4に留意し、開催制限の緩和を適用する場合の条件が担保されていない場合、5,000人を上限とする

こと。

なお、収容定員が設定されていない場合の取扱いは、後記②のア)及びイ)における収容定員が設定されていない場合の例によることとする。

② 収容率の目安

ア) 大声での歓声、声援等がないことを前提としうる場合

次の全てを満たす場合に限り、収容率の上限を100%とすること。

- ・ これまでの当該イベントの出演者等による類似のイベントの開催実績において、参加者が歓声、声援等を発し、又は歌唱する等の実態がみられていないこと（開催実績がない場合、類似の出演者によるこれまでのイベントに照らし、観客が歓声、声援等を発し、又は歌唱することが見込まれないこと）。

なお、この要件に該当することについて、イベント主催者において、過去の開催実績に基づく十分な説明が行われなかった場合は、この要件に該当しないものとして、後記イ)のとおり取り扱うこと。

- ・ これまでの開催実績を踏まえ、マスクの着用を含め、個別の参加者に対して感染防止対策（別紙3及び別紙4）の徹底が行われること。
- ・ 発声する演者と観客間の距離が適切に保たれている等、感染防止対策が業種ごとに策定された感染拡大防止ガイドラインに盛り込まれ、それに則った感染防止対策が実施されること。

各都道府県においては、イベントの特性に応じて、収容率の目安を適用することとなるが、具体的な事例等を示すと以下のとおりである。

（参加者の位置が固定され、入退場や区域内の適切な行動確保ができる催物）

大声での歓声、声援等がないことを前提としうる催物については、感染防止策の徹底を前提に、収容定員までの参加人数とする。具体的には、別紙2「各種イベントにおける大声での歓声・声援等がないことを前提としうる／想定されるものの例」の例示も踏ま

え、各都道府県が個別イベントの態様に応じて判断すること。

(参加者が自由に移動できるものの、入退場や区域内の適切な行動確保ができる催物)

大声での歓声、声援等がないことを前提としうる催物については、感染防止策の徹底を前提に、1) 収容定員が設定されている場合は、収容定員までの参加人数とする、2) 収容定員が設定されていない場合は、密が発生しない程度の間隔(最低限人と人が接触しない程度の間隔)を空けることとする。具体的には、別紙2の例示も踏まえ、各都道府県が個別イベントの態様に応じて判断すること。

なお、参加者が自由に移動でき、かつ、入退場時や区域内の適切な行動確保ができない催物については、後記(2)によることとする。

イ) 大声での歓声、声援等が想定される場合等

前記ア)に該当しない催物は、イ)の収容率の目安を適用する。

各都道府県においては、イベントの特性に応じて、収容率の目安を適用することとなるが、具体的な事例等を示すと以下のとおりである。

(参加者の位置が固定され、入退場時や区域内の適切な行動確保ができる催物)

大声での歓声、声援等が想定される催物については、異なるグループ又は個人間では座席を一席は空けることとしつつ、同一グループ(5名以内に限る。)内では座席等の間隔を設ける必要はないこと。すなわち、参加人数は、収容定員の50%を超えることもありうる。具体的には、別紙2の例示も踏まえ、各都道府県が個別イベントの態様に応じて判断すること。

なお、別紙3及び別紙4に留意し、開催制限の緩和を適用する場合の条件が担保されていない場合、令和2年8月24日付け事務連絡1.に示した目安によること。

(参加者が自由に移動できるものの、入退場時や区域内の適切な行動確保ができる催物)

大声での歓声、声援等が想定される催物については、1) 収容定員が設定されている場合は当該収容定員の50%までの参加人数とすることとし、2) 収容定員が設定されていない場合は十分な人と人との間隔(1m)を要することとする。具体的には別紙

2の例示も踏まえ、各都道府県が個別イベントの態様に応じて判断すること。

なお、参加者が自由に移動でき、かつ、入退場時や区域内の適切な行動確保ができない催物については、後記（2）によることとする。

（2）地域の行事、全国的・広域的なお祭り、野外フェス等

祭り、花火大会、野外フェスティバル等については、次のとおりの対応とし、引き続き、各都道府県は、イベント主催者等と十分に連携しながら、地域の感染状況等を踏まえて、開催の態様・有無を判断すること。

- ① 全国的又は広域的な人の移動が見込まれるものや参加者の把握が困難なものについては、引き続き、中止を含めて慎重に検討するよう促すこと。具体的には、催物を開催する場合には、十分な人と人との間隔（1m）を設けるよう促すこととし、当該間隔の維持が困難な場合は、開催について慎重に判断すること。
- ② 地域で行われる盆踊り等、全国的又は広域的な人の移動が見込まれない行事であって参加者がおおよそ把握できるものについては、6月19日以降は人数制限が撤廃されていることに留意すること。また、引き続き適切な感染防止策（例えば、発熱や感冒症状がある者の参加自粛、三密回避、十分な人と人との間隔の確保（1m）、行事の前後における三密の生ずる交流の自粛、手指の消毒、マスクの着用等）を講ずることを呼びかけるとともに、イベント主催者等に対し、イベントを開催する前に、イベント参加者による厚生労働省から提供されている接触確認アプリ（COCOA）や各地域で取り組まれている接触確認アプリの活用や、感染拡大防止のためのイベント参加者の連絡先等の把握の徹底を促すこと。

（3）人数上限や収容率の要件の解釈について

- ① 各都道府県においては、令和2年7月8日付け事務連絡2.（1）（人数上限に係る部分を除く。）に留意すること。
- ② 各都道府県においては、事前相談時その他の必要な場合に、イベント主催者等からの聞き取り等で、業種ごとに策定された感染拡大防止ガイドラインでの担保状況等を確認すること。
- ③ 本事務連絡で示した人数上限及び収容率要件については、国として示す目安であり、各都道府県においては、それぞれの地域の感染状況等に応じて、異なる基準を設定しうることに留意すること。た

だし、上記の人数要件及び収容率要件よりも緩やかな基準を設定することは、慎重に検討するとともに、仮にそのような基準を設定しようとする場合には、あらかじめ国と十分に連携すること。

- ④ 各都道府県においては、令和2年8月7日付け事務連絡「今後の感染状況の変化に対応した対策の実施に関する指標及び目安について」に留意し、地域の感染状況の段階に応じて、イベント開催について適切に判断すること。特に、催物等におけるクラスターの発生があった場合は、目安及び業種ごとに策定された感染拡大防止ガイドラインの遵守状況その他の実態を把握するとともに、イベント主催者等が都道府県からの指導等に従い、催物の感染防止策を徹底し、必要に応じて、催物の無観客化、中止又は延期等の要請に協力するよう促すこと。
- ⑤ 各都道府県においては、地域の感染状況やイベントの態様に応じて、個別のイベント開催のあり方を適切に判断し、例えば、入退場時や共用部、公共交通機関の三密が避けられない場合、上記1に示した人数上限を下回る範囲で三密の回避可能な人数に制限すること。

2. 催物の開催に関する留意事項

(1) エビデンス等に基づく感染防止策の注意喚起

催物は性質上不特定多数への集団感染リスクが考えられ、医療体制をひっ迫させる可能性がある。基本的な感染防止策に加え、感染リスクの分析に基づく有効な感染防止策の実施が重要であり、各都道府県とイベント主催者等は十分連携しながら、地域の感染状況、イベントの性質、地域医療体制への影響等に応じた適切なリスクアセスメントを行い、開催の態様・有無を判断することが求められる。

具体的には、各都道府県においては、別紙9「屋内イベントの開催のあり方に関する検討会とりまとめのポイント」で示しているとおり、イベント主催者等に対して、屋内での十分な換気と、接触感染、飛沫感染、マイクロ飛沫感染のリスクに応じた感染防止策、感染者の来場を防ぐ対策、感染発生時に感染可能性がある者を把握する仕組みの構築等を適切に行うよう促すこと。

【接触感染】

- ・ こまめな手洗いの励行
- ・ 出入口、トイレ等での手指消毒
- ・ ウイルスが付着した可能性がある場所の消毒
- ・ 人と人とが触れ合わない距離の確保
- ・ 混雑時の身体的距離を確保した誘導

【飛沫感染】

- ・ マスク着用（飛沫の飛散は相当程度抑制可能）
- ・ 演者が発生する場合には、舞台から観客の間隔を2m確保
- ・ 劇場・ホール内での食事は長時間マスクを外すことが想定され、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため自粛を促す
- ・ 混雑時の身体的距離を確保した誘導

【マイクロ飛沫感染】

- ・ 大声を伴うイベントでは隣席との身体的距離の確保
- ・ 同一の観客グループ内は座席を空けず、グループ間は1席（立席の場合は1m）空ける
- ・ 微細な飛沫が密集し、感染が発生することを避けるため換気を強化

関係各府省庁においては、本事務連絡に基づき、各所管団体に対して業種ごとに策定された感染拡大防止ガイドラインを適切に改定するよう促すこと。また、今後も、飛沫飛散シミュレーション等による新たなエビデンスを基にした見直しが必要となった場合には、各所管団体に対して業種ごとに策定された感染拡大防止ガイドラインを適切に改定するよう促すこと。

なお、本事務連絡で示した考え方について、他の施設に同様の考え方が適用できる場合には、本事務連絡で示した感染防止策・考え方が盛り込まれるよう所管団体に促すこと。

（2）都道府県との事前相談

各都道府県においては、令和2年7月8日付け事務連絡2.（2）に示すように、イベント参加者やイベント主催者等に対して、改めて感染防止策の注意喚起を行うとともに、全国的な移動を伴うイベント又はイベント参加者が1,000人を超えるようなイベントの事前相談に応じること。

以上

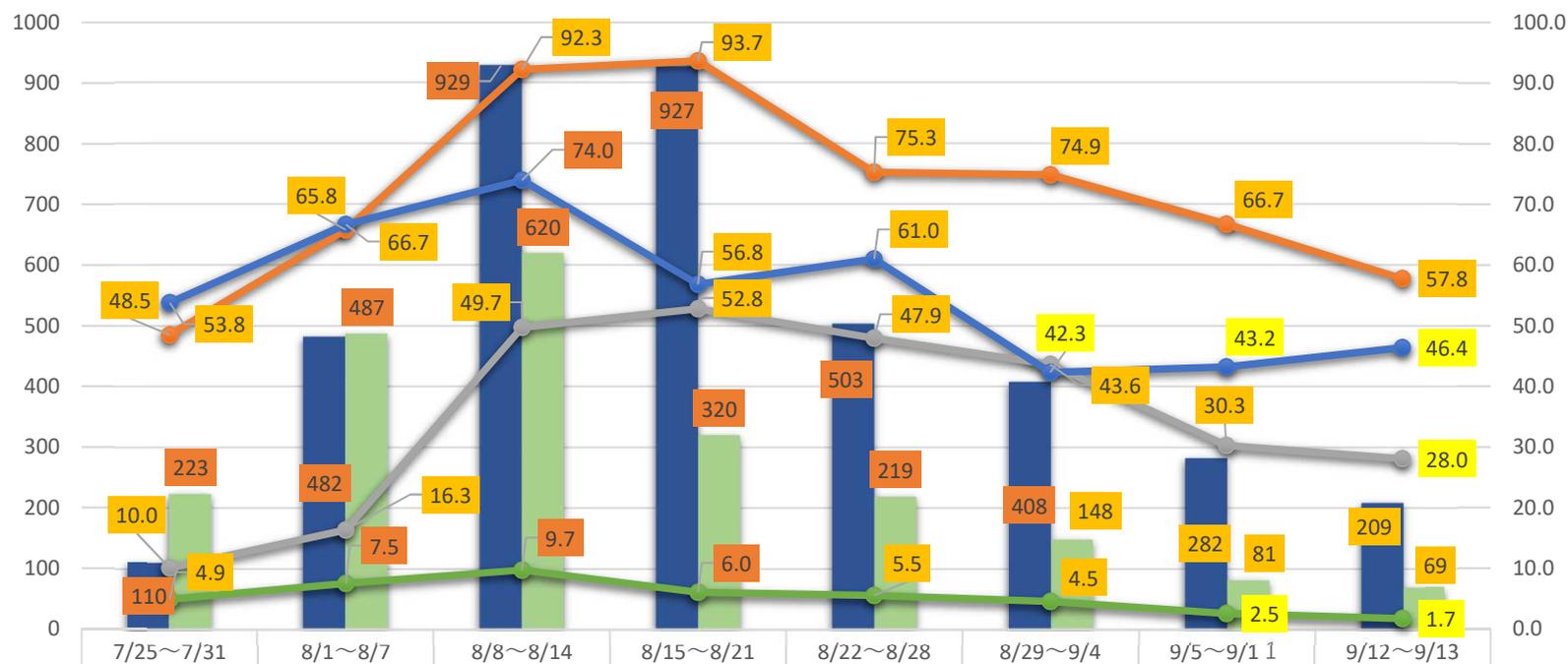
（照会先）

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室
企画第1担当 松田・植田・磯・井上・寺井
直通 03(6257)3085

(人)

警戒レベル指標の1週間ごとの状況

(%)

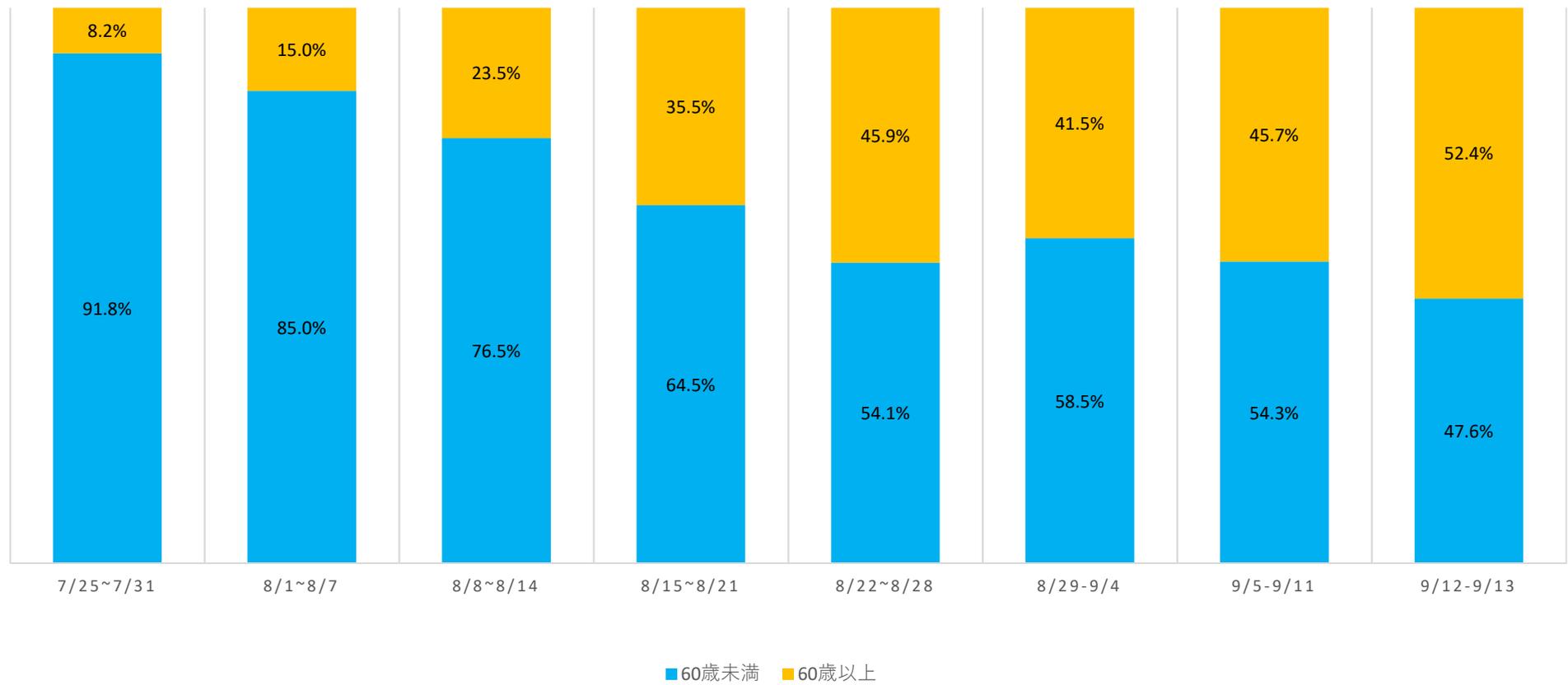


療養者数	110	482	929	927	503	408	282	209
新規感染者数(1週間計)	223	487	620	320	219	148	81	69
病床占有率	48.5	65.8	92.3	93.7	75.3	74.9	66.7	57.8
重症者用病床占有率	10.0	16.3	49.7	52.8	47.9	43.6	30.3	28.0
感染経路不明な症例割合	53.8	66.7	74.0	56.8	61.0	42.3	43.2	46.4
新規PCR検査の陽性率	4.9	7.5	9.7	6.0	5.5	4.5	2.5	1.7

療養者数 新規感染者数(1週間計) 病床占有率 重症者用病床占有率 感染経路不明な症例割合 新規PCR検査の陽性率

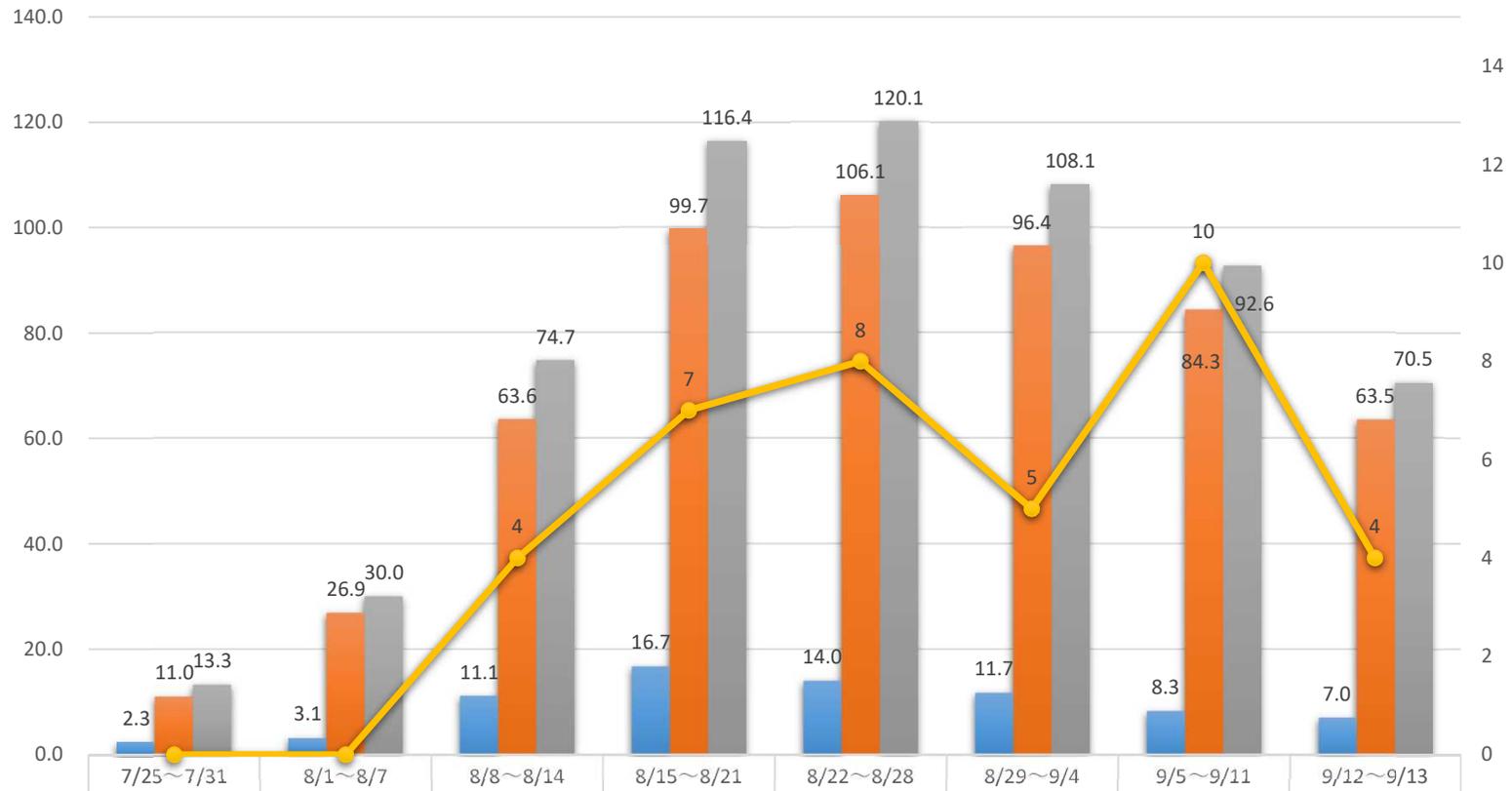
令和2年9月14日
総括情報部

新規感染者に占める60歳以上の割合



令和2年9月14日
総括情報部

重症・中等症患者の1週間ごとの状況



重症者	2.3	3.1	11.1	16.7	14.0	11.7	8.3	7.0
中等症者	11.0	26.9	63.6	99.7	106.1	96.4	84.3	63.5
合計	13.3	30.0	74.7	116.4	120.1	108.1	92.6	70.5
死亡退院 (1週間計) 右軸	0	0	4	7	8	5	10	4